



GLOBAL MAPPING NewsLetter 56

第 16 回地球地図国際運営委員会会合

ISCGM 事務局



2009 年 10 月 25 日（日）、ISCGM は第 16 回会合をタイ王国バンコクのロイヤルプリンスホテルにおいて、第 18 回国連アジア太平洋地域地図会議に先立って開催しました。テイラー委員長、12 カ国の国家地図作成機関、関係する国際機関など 36 名の出席がありました。

今回の会合において、福島事務局長から、

- ・地球地図プロジェクトに対する参加国の状況及びデータ公開におけるデータのダウンロード数と登録ユーザ数の増加
- ・昨年 11 月から開始した地球地図全球版の商用提供
- ・前回会合（2008 年 6 月）以降に開催した、2008 年 8 月クアラルンプール、2009 年 6 月ロッテルダムの非公式会合開催の取り組み等の事務局の取り組みが報告されました。

ワーキンググループ 2 からの報告として、

- ・46 カ国 / 地域及び機関からの意見をまとめた地球地図仕様改訂に関するアンケート調査の結果の概要
- ・2009 年 9 月のつくば地球地図国際ワークショップにおける地球地図の仕様改訂に関する議事内容について説明がなされました。

そのまま続いて、ワークショップにおいて作成された地球地図の新しい仕様改訂について活発な議論がなされ、結果として全会一致で仕様第二版が採択されることになりました。

また、ワーキンググループ 4 からの報告として、全球版データ（土地被覆、樹木被覆率）の次回更新の予定について報告がなされるとともに、土地利用レイヤーの今後の考え方についても問題提起がなされ、活発な意見交換が行われました。

リエゾン機関からの報告として、ICA, JBGIS、

ISO/TC211、PC-IDEA、国連地図課、PCGIAP 等からの口頭発表がありました。

さらに議論として、フェーズ3における戦略などについて活発な意見交換が行われました。これらの報告および議論を通して、以下の決議が取りまとめられました。

また、次の会合については、GSDI 会合が行われるシンガポール、FIG 会合が行われるシドニーでの開催が提案されましたが、今後の調整によって決定することとしました。



第 16 回地球地図国際運営委員会会合決議 (仮訳)

タイ・バンコク 2009 年 10 月 25 日

1. 戦略計画

ISCGM は国際連合が主導する新たな枠組みに関する取組みを歓迎する。国際連合との協力体制の強化は ISCGM にとって極めて重要である。

2. 参加及びデータ整備

- ISCGM は地球地図作成に参加する国家地図作成機関の継続的な努力に感謝する。
- 地球地図に参加する国々によるデータ作成及び提供は、ISCGM15 以降着実に進展した。参加国、顧問、リエゾン機関及び関連機関は、データ作成及びデータ提供が加速するよう、この支援を継続すべきである。

3. 仕様とその適用

- ISCGM は多くの国家地図作成機関の地球地図仕様改訂へのアドバイスに感謝する。

b) ISCGM は、9 月 8 日～10 日に日本国つくば市において開催された「地球地図第 2 版のための仕様改訂に関する国際ワークショップ」の成果を踏まえて提出された仕様第 2 版を採択する。

c) 新仕様を支えるマニュアルの作成はワーキング・グループ 2 と協議し行われる。人材育成、品質評価及び管理の重要性が認識され、採択された仕様に合わせてデータの維持が開始されるべきである。

4. 地球地図の公開

ISCGM は現在、標準フォーマットとあわせてユーザーフレンドリー・フォーマットでデータを提供している。第 2 版でも同様の取組みが行われるよう提案する。

5. 地球地図アウトリーチ活動

ISCGM は気候変動枠組条約会議等、各国における地球地図の利用の拡大を支援する。

6. 次回会合

2010 年に開催を予定する ISCGM 次回会合の会場候補地が、シンガポールにおける GSDI12 及びシドニーにおける FIG 等議論されたが、事務局は予算が確定し次第これを検討する。

7. 謝辞

本会合の開催について事務局に感謝し、地球地図作成における事務局の継続的な取組みを賞賛する。



第 18 回国連アジア太平洋地域地図会議（UNRCC-AP）
及び
第 15 回アジア太平洋 GIS 基盤常置委員会（PCGIAP）会合
タイ・バンコク、2009 年 10 月 26 日～29 日
リ・ウェイセン
PCGIAP 会長



第 18 回国連アジア太平洋地域地図会議（UNRCC-AP）は 2009 年 10 月 26 日～29 日にタイ・バンコクの国連会議センターにおいて開催されました。会議のテーマは「空間情報活用及び気候変動とミレニアム開発目標への対応」でした。

会議には 37 カ国及び 12 の専門機関・国際科学機関から 149 名の代表が参加しました。中国のリ・ウェイセン氏が会議を開会しました。ポール・チェン国連統計部長が国連事務局長に代わり開会挨拶を行いました。

本会合では招待講演者が国家、地域及び全球の問題に取り組む地理情報の成果と進歩について発表を行いました。PCGIAP では、急速な技術の変化により国家地図作成機関が直面している挑戦をとりあげ、地域の未解決の問題にこれらの技術を利用する重要性を強調したエグゼクティブ・レポート及びワーキンググループ・レポートを発表しました。また、未解決の全球規模の問題に取り組み、全球の地理情報管理を促進することにより、より効果的な調整を行うためのグローバル・フォーラムの必要性を強調した PCGIAP の今後の方向

性に関するパネルディスカッションも行われました。

「災害管理のための GIS、リモートセンシング及び測地」、「空間データ基盤及び空間情報活用政府」、及び「地理空間データ収集、管理及び普及」のテーマで 3 つの同時進行の委員会が開催されました。次回の UNRCC-AP までに実施される今後の活動予定や様々なテーマが議論されました。また、折り返し議論の成果が本会合に報告されました。以下の決議が会議で採択されました。

1. 地域の測地
2. 災害管理における人材育成
3. データアクセス
4. データ統合
5. 空間情報活用政府及び社会
6. 土地管理に関する年次フォーラム
7. 全球地理情報管理
8. 第 19 回国連アジア太平洋地域地図会議

第 15 回アジア太平洋 GIS 基盤常置委員会（PCGIAP）会合が第 18 回 UNRCC-AP とあわせて開催されました。中国のリ・ウェイセン氏、日本の村上広史博士及び韓国のキム・キョウンスー博士が、2009 年～2012 年の PCGIAP の会長、副会長及び事務局長にそれぞれ選出されました。オーストラリア、ブルネイ、インド、インドネシア、イラン、マレーシア、モンゴル及びシンガポールなど、その他の 8 カ国が 2009 年～2012 年の PCGIAP 理事会メンバーとして選出されました。PCGIAP の次回会合は、シンガポールにおいて 2010 年 10 月 18 日～22 日に GSDI12 とあわせて開催されます。

第 24 回 ICC（国際地図学会議）参加報告

小荒井 衛

国土地理院地理地殻活動研究センター地理情報解析研究室長



国際地図学会議（ICC）は国際地図学連合（ICA）が2年に1度開催する世界で最大規模の地図学に関する会議です。2009年11月15日～21日にチリ共和国サンチアゴ市の軍学校で第24回ICCが開催されました。国土地理院からは地理地殻活動研究センター地理情報解析研究室長小荒井が、知床半島羅臼岳の景観生態学図作成に関する研究と、地球地図プロジェクトの紹介を行いました。

論文発表数は、口頭発表が約300件、ポスター発表が約50件でした。会議参加者は、国外からが約700名、国内からが約1400名、その他に現地スタッフが約150名でした。

開会式は軍学校の講堂（大ホール）で行われ、地域実行委員長であるチリ陸軍国土地理院（IGM）長のガルシアー・ウイドブロ氏とICA会長のカートライト氏と陸軍省役人の挨拶がありました。

各日とも最初に基調講演が大ホールであり、その後6つの会場でテクニカルセッションが

行われました。基調講演の主なものを紹介すると、米国空間情報インテリジェンス庁長官のロバート・ムレット海軍中将の講演で、米軍が様々な地理空間情報取得技術を駆使して、国家安全保障の分野や地球環境問題の分野で空間情報を活用している報告がありました。Autodesk社ゼウス氏も地図学の貢献出来る先端分野として同じ領域を明示していました。英国測量局のローレンス氏からは国家地図作成機関としての現状と将来展望についての報告がありました。

小荒井は水曜日午前の衛星画像セッションで、「航空レーザ測量データで捉えた植生三次元構造と微地形を使った景観生態学図」を口頭発表しました。また、「航空レーザデータによる植生三次元構造マップ」というポスター発表を行いました。色々な方から質問も頂き、特にレーザパルスの反射が実際にはどこを捉えているのかに関心が有るようでした。

地球地図については、GISセッションで口頭発表を行いました。こちらの発表も参加者から関心を持って頂き、海洋のデータは扱わないのか？参加国をもっと増やすにはどのような方策を考えているのか？等の質問を頂きました。また、素晴らしいプロジェクトなので今後とも日本のイニシアティブで進めていってほしいとの意見を頂きました。

国連気候変動枠組条約第 15 回締約国会議（COP15）における地球地図の発表

中村 孝之

国土地理院地理調査部環境地理情報企画官



全体会合の様子

国連気候変動枠組条約第 15 回締約国会議（COP15）が 2009 年 12 月 7 日～18 日までデンマーク・コペンハーゲンにおいて開催され、2013 年以降の気候変動対策に関する国際枠組等について議論が行われました。

気候変動対策への地球地図の利活用を促進するため、地球地図国際運営委員会事務局を務める国土地理院から中村環境地理情報企画官が日本政府代表団の一員として同会議に参加し、地球地図プロジェクトの発表、地球地図の展示説明、関係者との意見交換等を行いました。



日本政府主催サイドイベントにおける地球地図の発表の様子

12 月 10 日に COP15 会場で開催され、約 150 人の参加を得た日本政府主催サイドイベント「Japan's efforts for international cooperation on climate change（気候変動に関する日本の国際協力）」において、「気候変動対策への地球地図の利活用」と題し、発

表を行いました。本発表において、地球地図プロジェクトの概要に加え、気候変動対策への地球地図の利活用例として、洪水解析システム IFAS における利用、温室効果ガスインベントリへの利用（地球地図ニューズレター Vol. 55 参照）などについて説明しました。

また、会場内の日本政府ブースにおいて、2008 年公開の地球地図第 1 版の全球土地被覆及び樹木被覆率データの出力図を掲示し、多くの会議参加者に地球地図プロジェクトの説明を行いました。



日本政府ブースにおける地球地図の展示説明（左側上から地球地図樹木被覆率、土地被覆）

国連の議論における主要テーマに「気候変動の適応策（気候変動の悪影響に対する対策）」や「途上国の森林減少・劣化に由来する温室効果ガス排出の削減」があります。これらの課題に適切に対処するためには、地理空間情報分野の技術が不可欠であり、会場内において GIS やリモートセンシングに関する発表や展示も多く見られました。

気候変動対策において、我々国家地図作成機関とその連携ネットワークである地球地図プロジェクトへの期待やその果たすべき役割は今後益々大きくなっていくものと思われます。

事務局から

2010 年用 ISCGM カレンダー作成

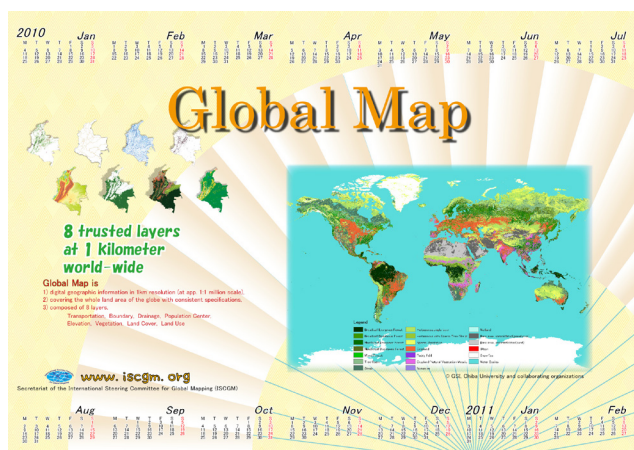
事務局では USGS から提供されたポスターを利用して 2010 年用の ISCGM カレンダーを作成しました。以下よりダウンロード（PDF）し、お使いください。

<http://www.iscgm.org>

○ What's New

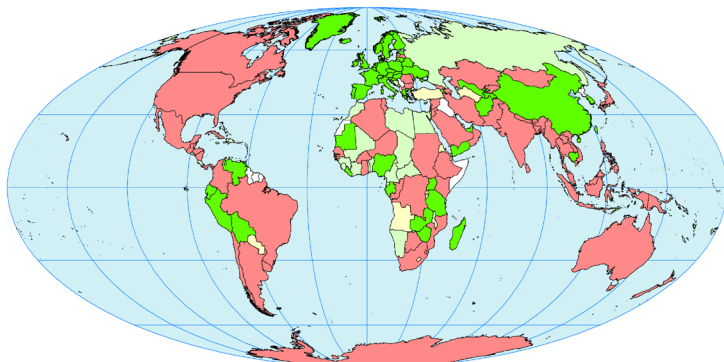
22-12-2009: Release of Global Map

2010 Calendar



地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2009 年 9 月 25 日に前回のニューズレターが発行されて以降、ブルガリアの地球地図が 12 月 25 日に公開されました。現在、164 カ国 /16 地域が地球地図プロジェクトに参加しています。そのうち 71 カ国 /4 地域の地球地図が公開されています。



- データ公開中
- データ検証中
- データ整備中
- 参加検討中
- 未参加

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2010 年

- 3 月 10 日～12 日、インドネシア、バリ
第 4 回 GEOSS アジア太平洋シンポジウム
- 4 月 11 日～16 日、オーストラリア、シドニー
第 24 回 FIG 国際会議 2010
- 5 月 27 日～28 日、英国、サウザンプトン
第 30 回 ISO/TC 211 本会議
- 10 月 18 日～22 日（予定）、シンガポール
第 16 回 PCGIAP 会合
- 10 月 19 日～22 日、シンガポール
GSDI 12 会議
- 10 月、シンガポール
第 17 回 ISCGM 会合
- 11 月 3 日～5 日、中国
GEO- VII
- 12 月 9 日～10 日、オーストラリア、キャンベラ
第 31 回 ISO/TC 211 本会議



NEWSLETTER は地球地図情報紙として、世界中の国家地図作成機関や地球地図データ利用者など 1,200 名以上もの多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029-864-6910 Fax: 029-864-6923

Web site: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org